

協働による地域ゼロカーボン戦略を考える
大学等コアリション
地域ゼロカーボンWG シンポジウム

地域主体による持続可能な未来創造

SUSTAINABLE
MIYAGI
FUTURE
VISION

宮城大学
理事・副学長
研究推進・地域未来共創センター長
風見正三

PROFILE

学歴

東京工業大学大学院総合理工学研究科環境理工学創造専攻 博士後期課程 修了
英国ロンドン大学政治経済大学院 (L.S.E) 都市地域計画学修士課程 修了
英国ロンドン大学理工医学大学院 (Imperial College) 経営学修士コース 修了

学位

博士 (工学) 東京工業大学 2007年
理学修士 (都市地域計画学) ロンドン大学 1992年
経営学修士 ロンドン大学 1993年

職歴

1984年4月 財団法人日本ダム協会研究部研究員
1987年4月 大成建設 (株) 開発本部
2008年4月 宮城大学事業構想学部 教授
2016年4月 宮城大学事業構想学部長 兼 事業構想学研究科長
2019年4月 宮城大学理事兼副学長 (研究・地域連携・産学連携担当)
2020年9月 宮城大学理事兼副学長 (研究, 学術情報, 地域連携・産学連携, 国際交流担当)
図書館長、最高情報責任者 (CIO)
2021年4月 研究推進・地域未来共創センター長 (兼務)

主要著書

「『明日の田園都市』への誘い-ハワードの構想に発したその歴史と未来-」 (彰国社、2001)
「コミュニティビジネス入門-地域市民の社会的事業-」 (学芸出版社、2009)
「都市・地域の持続可能性アセスメント」 (学芸出版社、2015)
「新モモンズ論-幸せなコミュニティをつくる八つの実践-」 (中央大学出版部、2016)
「森の学校を創る-震災復興から発する教育の未来」 (山口北州印刷株式会社、2020)



風見 正三

Shozo Kazami

宮城大学
理事・副学長

研究
学術情報
産学地域連携
国際交流
担当

事業構想学群
事業構想学研究科
教授

図書館長
最高情報責任者 (CIO)
研究推進・地域未来共創センター長

専門

都市計画・地域計画・環境デザイン
コミュニティビジネス
持続可能な地域創造学



HISTORY

平成 5 年	4 月	宮城県企画部県立大学設置準備室設置
	6 月	宮城大学創設準備委員会設置
	7 月	宮城県総合計画の戦略的プロジェクトの一つとして、県立宮城大学の整備を明示
平成 8 年	12 月	宮城大学条例制定／宮城大学設置認可
平成 9 年	4 月	宮城大学開学〔看護学部・事業構想学部〕
平成 13 年	4 月	宮城大学大学院（修士課程）設置〔看護学研究科・事業構想学研究科〕 宮城県農業短期大学 4 年制化基本構想検討委員会を設置 （宮城県農業短期大学創立は昭和 27 年）
平成 17 年	4 月	宮城大学食産業学部設置
平成 20 年	4 月	宮城大学大学院（博士課程）設置〔事業構想学研究科〕
平成 21 年	4 月	公立大学法人宮城大学設立 宮城大学大学院（修士課程）設置〔食産業学研究科〕
平成 22 年	4 月	宮城大学大学院（博士課程）設置〔看護学研究科〕
平成 25 年	4 月	宮城大学大学院（博士課程）設置〔食産業学研究科〕
平成 29 年	4 月	宮城大学学部改組により学群・学類制へ移行
令和 2 年	6 月	大和キャンパスにデザイン研究棟を新築

OVERVIEW

宮城大学の風景

美しい自然に囲まれた
豊かな学び舎

看護学群

看護学類

事業構想学群

事業プランニング学類
地域創生学類
価値創造デザイン学類

食産業学群

生物生産学類
フードマネジメント学類

看護学研究科

基盤看護学分野
成熟期看護学分野
次世代育成看護学分野
広域看護学分野

事業構想学研究科

ビジネスデザイン領域
ソーシャルデザイン領域
空間デザイン領域
情報デザイン領域

食産業学研究科

食品イノベーション領域
食品ビジネスマネジメント分野/食品技術開発分野
農・環境イノベーション領域
生物生産分野/生物環境分野

生涯健康支援看護学分野

産業・事業システム領域
地域・社会システム領域

食品研究領域
農・環境研究領域

学生数

学群	看護学群 403名	事業構想学群 866名	食産業学群 538名
研究科	看護学研究科 27名	事業構想学研究科 33名	食産業学研究科 32名

大和キャンパス

太白キャンパス



地域資源の利活用・交流促進



地域とともに未来へ対応



地域の食材を生かした商品開発



大学 X 地域 = 未来

震災の記憶の継承

地域のニーズを読み解き
大学のシーズをリエゾンし
地域の未来を共創する



地域企業との共同研究



地域の歴史の再生と活性化



地域創生の拠点形成



海洋資源を活用した商品開発

ACTION FOR FUTURE

宮城大学 研究推進・地域未来共創センター

本学の研究シーズと地域のニーズをマッチングし
持続可能な地域の未来を共創する

東北地方をめぐる社会環境

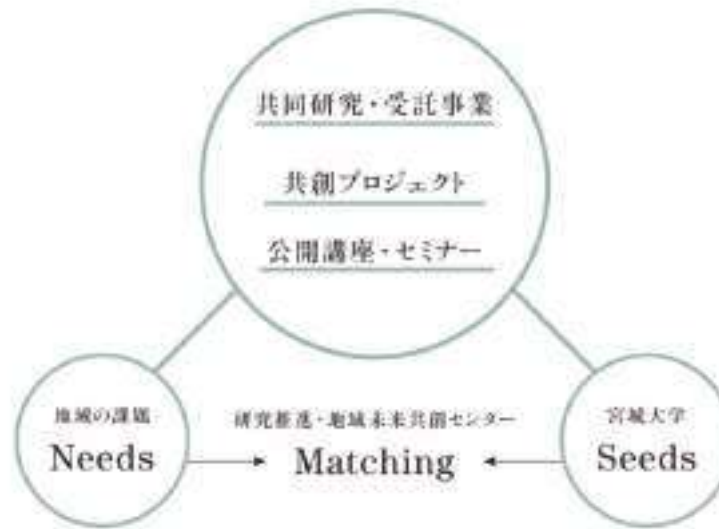
- ・美しい自然に支えられた豊かな生活と産業
- ・東日本大震災による10年を経過する節目の年
- ・震災復興の道程を踏まえ東北の未来創造

宮城県が目指す政策目標

- ・「新・宮城の将来ビジョン」
- ・「富県躍進！“PROGRESS Miyagi”
多様な主体との連携による活力ある宮城を目指して
- ・「人づくり」「地域づくり」「イノベーション」
- ・「持続可能な未来」の実現

宮城大学の目指す目標

- ・「第3期中期目標計画」の実現
- ・地域に開かれ、地域と共に発展していく公立大学
- ・地域における知の創造拠点



研究・共創センターの使命

- ・宮城大学の教育や研究に関わる知的財産の活用
- ・地域の多様なステークホルダーとの連携
- ・新たな研究開発や地域未来共創プロジェクトの推進
- ・真に豊かで持続可能な地域社会の実現

地域の発展に貢献, 多彩に共創をコーディネート

- ・企業や地方自治体・機関・団体のニーズへの対応
- ・人材・研究・技術・ノウハウの共有
- ・イノベーションやソリューションの提案
- ・地域産業の発展や魅力的な地域づくりの推進
- ・学際的なアプローチによる地域共創

Supporting Regional Developments in Miyagi, Tohoku & Japan

地域ゼロカーボンモデルの構築による地域未来共創

21世紀における社会課題の解決



持続可能な地域社会のプラットフォームの構築

地域資源の連鎖・地域経済の循環・地域人材の育成

ー地球規模の視点ー

地球温暖化対策
脱炭素社会システム
自然災害対策

GLOBAL ASPECT
グローバル

地域ゼロカーボンモデル プランニング&デザイン

未来ビジョンの構築
グランドデザインの策定
重点プロジェクトの立案
個別施策へのブレークダウン
主体別のアクションプラン
地域の担い手の育成

ー地域規模の視点ー

地域産業創造
コミュニティ創造
安全安心社会

LOCAL ASPECT
ローカル

KEY TO THE FUTURE VISION

世界的な環境政策の転換

1992 地球サミット

国連環境開発会議
リオデジャネイロ

1993 環境基本法成立

1995 阪神淡路大震災

1997 地球温暖化防止京都会議

2001 新世紀の幕開け

2011 東日本大震災

2015 COP21

第70回国連総会で採択
持続可能な開発のための
2030 アジェンダ

2021 震災10年目

東北の未来創造

持続可能な都市創造に向けた国際的なスタートライン

自治体政策の環境シフト

持続可能な発展
SUSTAINABLE
DEVELOPMENT

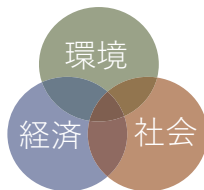
世代間共生
未来の選択
環境条件の維持

環境共生都市（エコシティ）の希求
環境基本計画の立案
地球温暖化防止対策実行計画の立案

自治体の環境政策の評価と指針

国連のメッセージ = ローカルアジェンダの実現 = 地域主体の解決策

環境・経済・社会の調和



2030アジェンダ = カーボンニュートラル = 新たな成長戦略

カーボンニュートラル達成 = 2050 : 日本・アメリカ・英国・EU等
海外の戦略 = 欧州グリーンディール (EU)・グリーン産業革命 (英国)

21世紀の政策キーワード

SDGsの達成

地域循環共生圏

カーボンニュートラル

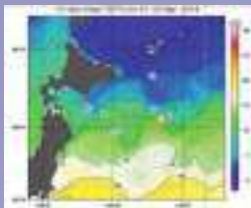
地球規模の
新たな産業革命



環境・経済・社会の調和を目指したローカルSDGsの実現

課題1 地球温暖化と自然環境の悪化

地球温暖化に伴う
自然環境の変化や
都市環境の変容



課題2 自然資源と地域産業の衰退

海洋・森林資源等の
自然環境に立脚した
地域産業の衰退



課題3 地域資源とコミュニティの衰退

地域の歴史・文化と
それらを支える地域コ
ミュニティの衰退

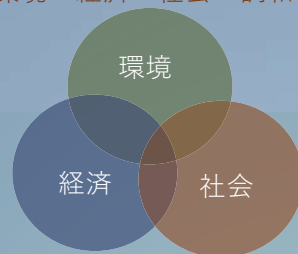


自然環境の再生
都市環境の創造

宮城県の総合政策

新・宮城の未来ビジョン
環境政策・産業政策

環境・経済・社会の調和



自治体の都市政策

ゼロカーボンシティ
環境未来都市

地域産業の創造
地域社会の再生

ローカルSDGsのモデル

Blue & Green
Carbon Neutral

地域産業の革新

ローカルエネルギーの創造
(太陽光・風力・バイオマス・水素等)

エコツーリズムの発展

カーボンオフセットの推進

サステナブルコミュニティの創造



出展：ジャパンブルーエコノミー技術研究組合

持続可能な
宮城の創造

地域循環共生圏
の構築



出展：南三陸町 バイオマス産業都市構想

海・川・湖沼・森
・街・村・里
の連携

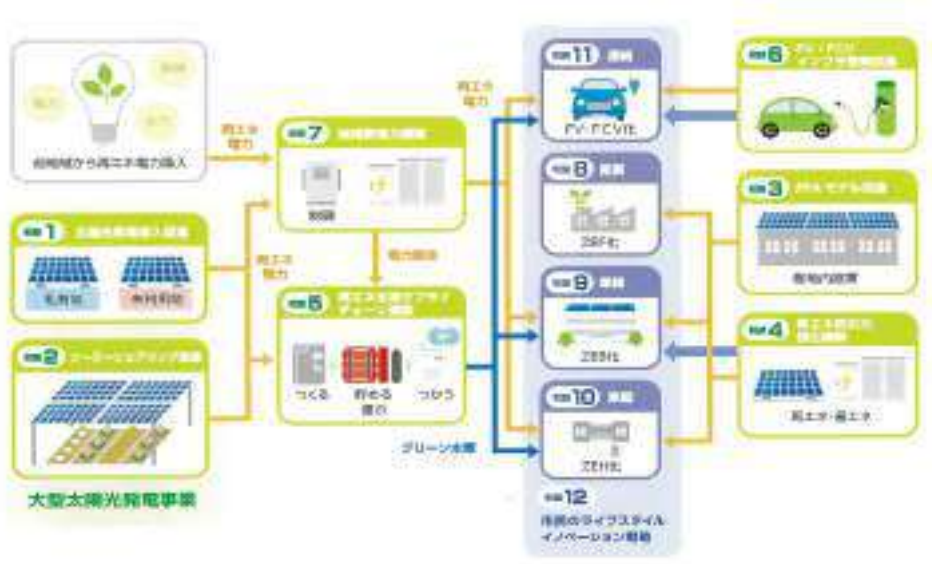
連携自治体での取り組み

宮城県富谷市 ～環境未来型『G X 田園都市とみや』を目指す～

【これまでの脱炭素に関する取組】

富谷市では、低炭素水素サプライチェーン構築の実証事業、水素燃料電池バスの導入、脱炭素化に向けた水素事業の普及啓発に取り組んできた。
令和3年2月に「2050年富谷市ゼロカーボンシティ」を宣言し、令和3年度中において「ゼロカーボン戦略」策定に宮城大学も協力を行った。

【ゼロカーボン戦略における取組概要】



低炭素水素サプライチェーン構築事業



水素燃料電池バス導入



未来・水素エネルギーフォーラム
(～)

【富谷市の概況】



R3.12.31

面積	49.18km ²
人口	52,494人
世帯数	19,927世帯
人口密度	1,065人/km ²

【新しい街並み】

連携自治体での取り組み

宮城県美里町 ～協働まちづくり『環境ステーションの構築』

美里町協働まちづくり：環境ステーションの構築



省エネ・再エネ導入に向けた
ハード・ソフト施策の実施

農業や交通などの
行政課題の解決・地域経済発展

MISSION FOR FUTURE

地球環境時代における大学の使命



持続可能な地域社会の将来像を描く

—SDGs・カーボンニュートラル・レジリエンス—

—地球貢献—



GLOBAL IMPACT
グローバルインパクト

持続可能な地域創造の
シナリオプランニング
産学連携・地域共創・政策提言

総合知 + 先端知 + 実践知

地域の未来を共創する
知的拠点
(シンクタンク)

—地域貢献—



LOCAL ACTION
ローカルアクション

地域主体による持続可能な未来創造

SUSTAINABLE
MIYAGI
FUTURE
VISION

宮城大学

理事・副学長

研究推進・地域未来共創センター長

風見正三